

調布教会 教会学校 週報

2026年度 みことば

「主を喜びとすることこそ、あなたがたの力であるからだ。」ネヘミヤ記 8章10節c



テーマ 「 神様と仲良くなろう 」

教会学校礼拝プログラム

2026年 7月26日

前 奏
賛 美

「てんにいます わたしたちのちち」 こどもさんびか 改訂版 19番

お祈り

天の父なる神さま。御名をあがめ賛美いたします。わたしたちは神さまがわたしたちにとって一番よいものをいつも与えてくださっていることを知っています。それでも感謝を忘れたり、目に見えるにとらわれて不安になったりします。すべてを治めておられるあなたにゆだねることができま

聖 書

歴代誌上29章10～12節（旧約聖書p.655）

交読詩編

交読詩編（14） 詩編100より p.207

説 教

「すべてはあなたのもの」

国と力と栄とは限りなく限りなく汝のものなればなり
この部分はイエスさまが教えてくださった祈りにはありません。クリスチャンたちが主の祈りを祈っている間に、この言葉を含めて祈るようになっていったのです。
ただ、この結びの言葉は、聖書の教えと見事に合致しています。
目には見えませんが、神さまは現在も世界を治めており、「国と力と栄え」はいつまでも限りなく神さまのものなのです。わたしたちには今の世界が混乱しているように見えます。でもクリスチャンは神さまがこれからのことを計画されて最善をなしてくださることを信じています。祈りの最後に神さまを賛美して祈りの結びの言葉としたのです。

暗唱聖句
黙想タイム

まことに、^{てん}天と^ち地にあるすべてのものはあなたのもの。
(^{れきだいし}歴代誌上29章 ^{しやう}11節 ^{せつ}b)

賛 美

「祈ってごらんよ わかるから」 新聖歌 481番

献金と感謝の祈り 24-1

主の祈り

^{てん}天にまします^{われ}我らの^{ちち}父よ。願わくは御名をあがめさせたまえ。^{みくに}御国を^{きた}来たらせたまえ。
^{みこころ}みこころの^{てん}天になるごとく、^ち地にもなさせたまえ。^{われ}我らの^{にちよう}日用の^{こめ}糧を^{きよう}今日も与えたまえ。^{われ}我ら
に^{つみ}罪を^{あか}犯すものを^{われ}我らが^{ゆる}赦すごとく、^{われ}我らの^{つみ}罪をも^{ゆる}赦したまえ。
^{われ}我らを^{こころ}試みにあわせず、^{あく}悪より^{きん}救い^{たま}いだしたまえ。
^{くに}国と^{ちから}力と^{さか}栄えとは、^{かぎ}限りなく^{なんじ}なんじのものなればなり。 アーメン

お知らせ

裏面に記載

賛 美
祝 福
後 奏

36 いまでかけよう
八木浩史 牧師

教会学校の課題 ① 「神の家族」として、調布教会に繋がろう、② 友のために祈ろう、
③ 災害や戦禍の中にある人々のために祈ろう、④ 調布教会創立 80 周年を祝おう。

今月・来月の予定			
7月		8月	
5日	7・8月のお誕生日会	2日	ファミリーキャンプ 8/2（日）-4（火）
12日	絵本の読み聞かせ	9日	絵本の読み聞かせ
19日		16日	
26日	8月の賛美練習、ね羊さんと御心探索	23日	ね羊さんと御心探索
		30日	9月の賛美練習
本日のお知らせ ・主日礼拝前半の「子ども説教」への出席をお待ちしています。 ・教会に来られない時は、LINE を利用して家庭礼拝をお献げしましょう。 ・次週はキャンプです。			

メモ

<さんび>

天にいますわたしたちの父

1
てんにいますわたしたちのちち、
わたしたちのしゅよ、
みな があがめられますように、
わたしたちのしゅよ。

2
みくにがきますように、
わたしたちのしゅよ、
あなたのがきますように、
わたしたちのしゅよ。

3
みこころがてんとおなじく、
わたしたちのしゅよ、
ちでもおこなわれますように、
わたしたちのしゅよ。

4
きょうのパンをきょうこのひに、
わたしたちのしゅよ、
わたしたちにあたえてください、
わたしたちのしゅよ。

5
つみをゆるしてください、
わたしたちのしゅよ、
わたしたちもゆるしあいます、
わたしたちのしゅよ。

6
こころみにあわせないで、
わたしたちの主しゅよ、
あくからすくいだしてください、
わたしたちのしゅよ。

7
くにもちからもさかえも、
わたしたちのしゅよ、
かぎりなくあなたのものです。
アーメン。



祈ってごらんよわかるから

きみはかみさまにね はなしたことあるかい
こころにあるまを うちあけて
てんのかみさまはね きみのことなんでも
わかっておられるんだなんでもね

だからそらあおいで
「かみさま」とひとこと
いのってごらんよ わかるから

おがわのほとりでも
ひとごみのなかでも
ひろいせかいのどこにいても

ほんとかみさまは
いまもいきておられ
おいのりにこたえてくださる

